

科目名	教員名
論理・推理・解釈	大久保桂子／外部講師

免許・課程

教職課程

資格課程

開講詳細

開講キャンパス	開講時期	曜日	時限	開講学年	単位数
渋谷	集中	スプリングセッション	スプリングセッション	カリキュラムにより異なります。	2

講義概要

授業のテーマ

国及び地方公共団体の行政官及び警察官・消防官等を目指すために必要な知識・技術等を学ぶ講座である。特に公務員採用試験の中で重要とされる「数的処理」の基礎力の習得を目指し、数学的思考力や論理的思考力を鍛えることをテーマとする。

授業の内容

本授業は、主に Zoom を利用したオンデマンド型オンライン授業（録画配信）として実施する。

一つの目安として、公務員採用試験における数的処理に対応できる能力・考え方を身につけられるような内容とする。この講座について事前学習は特に必要ではない。しかし、各回の講義に臨むときに気を抜かず真剣に聴講することと各回に課題を出しますので、必ず期限までに提出すること。課題の掲載については授業計画の各回を確認すること。

到達目標

公務員採用試験における数的処理全般の基礎レベルの知識の修得

具体的には以下の3点を念頭に置いて講義を実施する。

1. 「数的推理」分野の問題を解くための学力の修得
2. 「判断推理」分野の問題を解くための学力の修得
3. 「空間把握」「資料解釈」の問題を解くための基礎力の修得

授業計画

第1回	講座のガイダンス、公務員採用試験の概要と「数的処理」という科目の重要性 「数的推理①」 ここでは「文章題」と「比と割合」の概念を理解してもらう。 K-SMAPY II のアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。
-----	--

	<p>【事前学修 5分】 ⇒シラバスを確認し、教科書の準備をする。</p> <p>【事後学修 0分】 ⇒第3回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第2回	<p>「数的推理②」 ここでは「比と割合」の概念と出題例である「利益算・濃度」の問題の解法を理解してもらう。 K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】 【事後学修 0分】 ⇒第3回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第3回	<p>「数的推理③」 ここでは「速さ」の解法を理解してもらう。 K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】 【事後学修 120分】 ⇒復習として第1回～第3回の授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。また、課題を演習するなかで「自力で解ける力」を確認する。</p>
第4回	<p>「数的推理④」 ここでは「速さ」の解法を理解してもらう。 K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】 【事後学修 0分】 ⇒第7回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第5回	<p>「数的推理⑤」 ここでは「倍数・約数」と「規則性」の解法を理解してもらう。 K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】 【事後学修 0分】 ⇒第7回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第6回	<p>「数的推理⑥」 ここでは「場合の数」の解法を理解してもらう。 この授業では後半に「数的推理」の確認テストを行う。 K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】 【事後学修 0分】 ⇒第7回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第7回	<p>「数的推理⑦」 ここでは「確率」の解法を理解してもらう。</p>

	<p>K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 120分】</p> <p>⇒復習として第4回～第7回の授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。また、課題を演習するなかで「自力で解ける力」を確認する。</p>
第8回	<p>「判断推理①」</p> <p>ここでは「集合」と「論理・命題」の解法を理解してもらう。</p> <p>K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 0分】</p> <p>⇒第11回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第9回	<p>「判断推理②」</p> <p>ここでは「論理・命題」と「対応関係」の解法を理解してもらう。</p> <p>K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 0分】</p> <p>⇒第11回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第10回	<p>「判断推理③」</p> <p>ここでは「位置関係」の解法を理解してもらう。</p> <p>K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 0分】</p> <p>⇒第11回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第11回	<p>「判断推理④」</p> <p>ここでは「順序関係」の解法を理解してもらう。</p> <p>K-SMAPYⅡのアンケート機能に課題（確認テスト）を掲載。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 120分】</p> <p>⇒復習として第8回～第11回の授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。また、課題を演習するなかで「自力で解ける力」を確認する。</p>
第12回	<p>「判断推理⑤」</p> <p>ここでは「試合」の解法を理解してもらう。</p> <p>授業資料に課題（確認テスト）を掲載、K-SMAPYⅡのアンケート機能で解答を提出。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 0分】</p> <p>⇒第15回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>

第 13 回	<p>「資料解釈①」</p> <p>ここでは「実数の資料」の読み方を理解し、問題の解法を習得してもらう。</p> <p>授業資料に課題（確認テスト）を掲載、K-SMAPYⅡのアンケート機能で解答を提出。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 0分】</p> <p>⇒第 15 回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第 14 回	<p>「資料解釈②」</p> <p>ここでは「構成比の資料」の読み方を理解し、問題の解法を習得してもらう。</p> <p>授業資料に課題（確認テスト）を掲載、K-SMAPYⅡのアンケート機能で解答を提出。最終授業日までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 0分】</p> <p>⇒第 15 回の授業を受けたら、復習として授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を確認する。</p>
第 15 回	<p>「資料解釈③」</p> <p>ここでは「指数」「増減率」の読み方を理解し、問題の解法を習得してもらう。</p> <p>K-SMAPYⅡの課題管理に最終授業日提出物（定期テスト）を掲載。3/29（月）までに提出すること。</p> <p>【事前学修 0分】</p> <p>【事後学修 120分】</p> <p>⇒今までの授業で触れた問題の中で特に苦手とする問題を解きなおす。また、最終授業日提出物を演習するなかで「自力で解ける力」を確認する。</p>
授業計画の説明	<p>授業では実際に問題を解いてもらい、その解説を行うことで論理的な思考の流れを確認してもらうことを目的とする。なお、講義内容は公務員採用試験での出題頻度を勘案して、頻出のテーマに絞って行う。授業では扱わないテーマはテキストや問題集を使って、習得してほしい。</p> <p>いわゆる「数的処理」は公務員を目指す学生にとって苦手意識をもってしまう科目である。しかし、重要科目であるので、「問題を解く」ということを重点的に講義していく。</p>

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業時間外の学習方法

各回とも、予習については、まずそれぞれのテーマの該当箇所の問題に目を通してほしい。どのような出題形式なのかを把握して上で講義に臨んでもらうと、効率よく理解できるはずである。復習については、各回の「授業計画」の準備学習を参考にしてほしい。

受講に関するアドバイス

将来の公務員試験の受験を真剣に考えて講義に臨む人を想定しています。「数的処理」は本講義を受講しただけで身につくような簡単なものではないので、授業内で問題を解いてもらうだけでなく、自学自習が必須となる。積極的・主体的に授業に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法・基準

評価方法	割合	評価基準
平常点	100%	毎回の課題（確認テスト）の提出状況・点数 最終授業日提出物（定期テスト）の合格基準は60%とする。

※すべての授業に出席することが原則であり、出席自体を加点の対象とすることはできません。

注意事項	
------	--

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

実務経験に関する記載	
------------	--

履修登録制限・備考	
-----------	--

教科書・参考文献等

教科書

数的処理講義ノート・数的処理V問題集

参考文献

書名	著者名	出版社	備考
公務員過去問攻略Vテキスト 数的処理(上)	TAC 公務員講座 編	TAC 出版	
公務員過去問攻略Vテキスト 数的処理(下)	TAC 公務員講座 編	TAC 出版	

参考文献コメント

参考になるウェブページ